

ジャカビ療法

血液内科

骨髄線維症

ID

患者名

身長 cm

体重 kg

体表面積 m²

初回 ・ 継続 (前回 /)

印

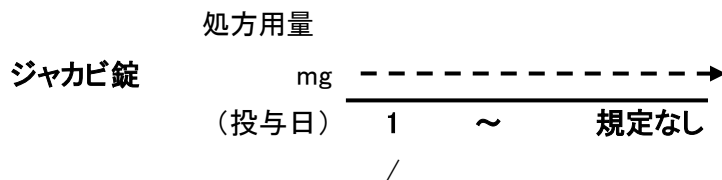
印

★投与量

計算値

ジャカビ錠 10~50mg/body mg 経口投与 分 2 規定なし

★投与スケジュール…規定なし



★注意事項

- 投与開始にあたっては、血小板数に基づき下記を参考に開始用量を決定する
血小板数 20 万/ μ L 超: 開始用量 1 回 20mg 1 日 2 回
血小板数 10 万/ μ L 以上 20 万/ μ L 以下: 開始用量 1 回 15mg 1 日 2 回
血小板数 5 万/ μ L 以上 10 万/ μ L 未満: 開始用量 1 回 5mg 1 日 2 回
- 投与中に血小板数が減少した場合、下記を参考に減量又は休薬を考慮する。血小板数が休薬前の数値以上に回復した場合には、1 回 5mg を 1 日 2 回から投与を再開できる
血小板数 10 万/ μ L 以上 12.5 万/ μ L 未満: 1 回 25mg \rightarrow 20mg に 1 日 20mg 以下は変更なし
血小板数 7.5 万/ μ L 以上 10 万/ μ L 未満: 1 回 25mg 回 25 \sim 15mg \rightarrow 10mg に 1 日 10mg 以下は変更なし
血小板数 5 万/ μ L 以上 7.5 万/ μ L 未満: 1 回 25 \sim 10mg \rightarrow 5mg に 1 日 5mg は変更なし
血小板数 5 万/ μ L 未満: 休薬
- 投与中に好中球数が 500/ μ L 未満に減少した場合には休薬する。好中球数が休薬前の数値以上に回復した場合には、1 回 5mg を 1 日 2 回から投与を再開できる
- 十分な効果が認められず血小板数および好中球数から増量可能と判断できる場合は、1 回の投与量を 5mg ずつ 2 週間以上の間隔をあけて増量できる。ただし、初回投与後、4 週間は増量しない

[ジャカビ]

- 血小板減少症、貧血、好中球減少症があらわれることがあるので、投与開始前および投与中は定期的に血液検査を行い、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、休薬、減量、投与中止等の適切な処置を行うこと
- 免疫抑制作用により、細菌、真菌、ウイルス又は原虫による感染症や日和見感染が発現又は悪化

することがあり、B 型肝炎ウイルスキャリアの患者又は HBs 抗原陰性かつ HBc 抗体若しくは HBs 抗体陽性の患者において B 型肝炎ウイルスの再活性化による肝炎があらわれるおそれがある。肝炎ウイルス、結核等が再活性化するおそれがあるので、投与に先立って肝炎ウイルス、結核等の感染の有無を確認し、投与開始前に適切な処置の実施を考慮すること。また、投与中は感染症の発現又は憎悪に十分注意し、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと

- ・ 帯状疱疹があらわれることがあるので、投与開始前に、患者に対して帯状疱疹の初期症状について説明し、異常が認められた場合には速やかに連絡し、適切な処置を受けるよう指導すること
- ・ 結核、敗血症等の重篤な感染症が発現し、死亡に至った症例が報告されていることから、十分な観察を行うなど感染症の発症に注意すること